



高度なビジネスを実現する 俊敏な財務部門の構築

ハイパフォーマンスの実現へ

今後数年間で企業のCFO(最高財務責任者)を筆頭とする財務部門は、真の変革の時代、すなわちテクノロジーを基盤とした財務の時代に突入します。デジタル時代への急速な移行に伴い、財務関連のテクノロジーもまた、デジタルビジネスで求められる俊敏性やリアルタイムなサポートに向けて発展を遂げつつあります。私たちはこれを財務分野の第3の変革期と見ています。

第1の変革期にはERPが誕生し、取引や会計処理の自動化が進みました。第2の変革期にはデータ駆動型の情報管理とEコマースが台頭し、データからより深く価値の高い洞察を引き出すことを可能にしました。それにより、財務部門の役割も正確な記録の保存からパフォーマンスの分析へと変化しました。そして、第3の変革期であるデジタル時代においては、これまでのルーチンワークがテクノロジーでシームレスに実行できるようになったことで、財務部門は「企業価値の創出」という新たな役割に注力できるようになりました。

なぜ財務部門に変革が必要なのか？

デジタル化の波は、かつてないほど多くの市場においてビジネスの展開方法に根本的な変化をもたらしつつあります。この変化に効果的に対処し、多様かつ不安定な市場でリスクを軽減しながら成長を遂げるには、企業は何よりもまず、これまで以上の俊敏性を身につけなければなりません。

にもかかわらず、多くの企業においては高まる不安定性とスピード、熾烈な競争に対して俊敏性を生かすのではなく、より一層複雑なオペレーションモデルを構築して対応しようとする傾向が見られます。この複雑性が大きな障壁となって、企業の売上と利益の成長を妨げているのが現実です。このような状況下において、財務部門には社内プロセスの合理化に向けてイニシアチブを取ることが、そしてCFOには、効果的な変革に向けた積極的かつ戦略的な施策を率先して設計・実践していくことが求められています。

複雑性への対処

アクセンチュアがハイパフォーマンスな財務部門(および財務部門が直面している主な課題)について実施した最新の調査¹では、今日のビジネス環境が極めて複雑化していることが明らかになりました(図1を参照)。CFOが指摘する課題の上位5つのうち4つは、この高まる複雑性から生じているものです。具体的には、複雑なレガシーシステム、複数のステークホルダーから寄せられるニーズへの対応、複雑化する社内オペレーティングモデルのサポート、これまでにない複雑な財務リスクの軽減という課題が指摘されています。企業は新たな市場への参入を果たし、新たな成長の機会を得るたびに、過去に経験したことのないリスクに直面することになるのです。CFOはリーダーとして、これらのリスクを可能な限り効率的に特定し、定量化して軽減することを目指さなければなりません。

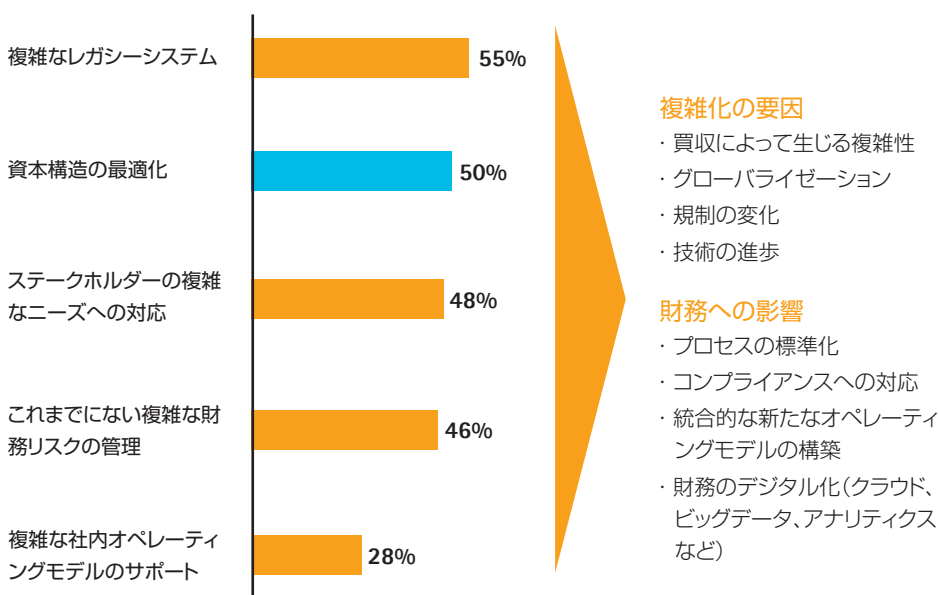
¹ www.accenture.com/HighPerformanceFinance

リアルタイムの運用

これらの新たなリスクにCFOが対処する上で、の障壁となっているのが、リアルタイムな情報の欠如です。デジタルワールドは、リアルタイムで動いています。ユーザーフレンドリーかつ包括的なリアルタイムデータの欠如は、財務部門にとって命取りとなります。そのため、財務部門はデータの収集や照合、編集に多くの時間を費やしますが、本来、財務部門が力を注ぐべき業務は、情報の分析を通じて新たな洞察を導き出し、収益の改善につながる意思決定を支援することです。こうしたことから、現在の財務部門はリアルタイムデータの欠如によって、以下のような領域でいくつもの課題を抱える状況に陥っています。

- ・ キャッシュフロー管理および運転資本の最適化
- ・ 新たな価値創出を支える資本投資の判断につながる洞察の提供
- ・ 財務報告の速度と俊敏性
- ・ 利益とコストと効率に関するプレッシャー
- ・ リスクおよびコンプライアンスへの対応
- ・ 不正の検知とモニタリング
- ・ 正確性の判断が困難な複数の情報の存在
- ・ 柔軟性の不足
- ・ ユーザビリティとモビリティの欠如

図1: CFOが指摘する課題の上位5つのうち4つは、高まる複雑性によって生じている財務部門の上級幹部として、最も大きな課題と思うものをあげてください。



SAP S/4HANAのご紹介 -SAP Simple Finance

財務部門が上記の課題を克服し、リアルタイム経営の実現に向けて企業をサポートするためには、エンタープライズ・システムの大規模な見直しを行い、デジタルを活用した財務機能の変革が必要です。SAP Simple Financeは、まさにこうした目的を支援するためにリリースされました。SAP Simple Financeは未来の財務ポートフォリオであり、SAP Business Suite 4 SAP HANA (SAP S/4HANA) の導入に向けた第一歩として最適なソリューションです。ERPIによる財務機能の管理に変革をもたらすSAP Simple Financeは、業務効率とユーザビリティを考慮し、技術的なシンプルさと拡張性を何よりも重視しています。

SAP Simple Financeでは、財務会計、管理会計、および収益分析に関するあらゆる情報を網羅した統合元帳の利用を可能とします。ユーザーにリアルタイムな会計情報を提供し、全く新しく設計された使いやすく便利な操作環境を実現します。さらに、SAP Simple Financeはデータストレージの要件を軽減するとともに、より迅速に結果を示すことで、システム全体の技術的な複雑性を緩和します。また、モバイルデバイス用のビューとアプリも揃え、これまで以上に柔軟で俊敏な業務環境を財務部門に提供します。

アクセンチュア:俊敏性を備えたエンタープライズの構築

アクセンチュアは次世代エンタープライズ・システムのビジョンとして、「俊敏性を備えた組

織」を掲げています。インターネットに常時接続されていることが当たり前の、デジタルと連動したビッグデータの世界をビジネスに最大限に生かしたいと考える企業のために、アクセンチュアは俊敏性に富んだエンタープライズ・アプローチを開発しました。このアプローチはインメモリなどの破壊的な技術を特色とし、ソーシャルやモバイル、アナリティクス、クラウドといったデジタル・テクノロジーを基盤とするより高度なERP資産を提供します。この中でSAP S/4HANAは強力なプラットフォームとして、その価値をさらに高める俊敏なエンタープライズ・フレームワークとの統合により、デジタル変革の実現に向けてすでに動き出している企業が他社にない差別化された能力を発揮したり、これまでにない効果的な方法でカスタマー・エンゲージメントを構築したりするのを支援します。

今すぐ導入を

財務の変革と俊敏な財務部門の構築を目指す企業に対して、私たちは個々のクライアントの環境や業種、リスク条件、ビジネスケースに基づいてカスタマイズされたアプローチによる支援を行っています。わずか数カ月の期間で展開可能な、豊かで革新的なソリューションがもたらす変革のメリットを、財務部門がすぐに享受できるようお手伝いしています。変化を実現し、俊敏性と即応性に富んだリアルタイムなビジネスを可能にするソリューションを、私たちはクライアントとともに構築します。既存のERP資産を利用して、新たなテクノロジーと統合することにより、クライアントが財務の変革を通じて前進するのを後押ししつつ、新たな戦略的価値を実現するのをサポートします。

やるべきことは?

俊敏性に富んだ財務部門へのロードマップを今すぐ作成する

優先するべきことは?

変化を必要とする既存のプロセスから取り組んでいく

始め方は?

アクセンチュアのクライアントの事例から学ぶ

パートナーは?

アクセンチュアと協働し、その多彩なエコシステムを活用する



SAP Simple Financeのビジネス・ビジョン

- ・リアルタイム情報を活用することで定期的に実施される財務業務をイベントドリブンなプロセスに変革
- ・個々のラインアイテムを必要に応じて集約できるシームレスなプラットフォームを提供
- ・財務モデリング、統合的な予測機能、自動アラート、および包括的シナリオシミュレーションによる、ダイナミックなプランニングと分析を提供
- ・モビリティと新しいユーザーインターフェースを生かした、モバイルデータ・アクセスの実現
- ・高い柔軟性の実現—レポートングの次元を容易に追加でき、ラインアイテム・データの瞬時のレポートングも可能。あらゆるデータを全て分析

アクセントチュアについて

アクセントチュアは、経営コンサルティング、テクノロジー・サービス、アウトソーシング・サービスを提供するグローバル企業です。32万3,000人以上の社員を擁し、世界120カ国以上のお客様にサービスを提供しています。豊富な経験、あらゆる業界や業務に対応できる能力、世界で最も成功を取っている企業に関する広範囲に及ぶリサーチなどの強みを活かし、民間企業や官公庁のお客様がより高いビジネス・パフォーマンスを達成できるよう、その実現に向けてお客様とともに取り組んでいます。2014年8月31日を期末とする2014年会計年度の売上高は、300億usドルでした（2001年7月19日NYSE上場、略号：ACN）。

アクセントチュアの詳細は
www.accenture.comを、
アクセントチュア株式会社の詳細は
www.accenture.com/jpをご覧ください。